

14時30分解禁

平成25年4月 全国百貨店売上高概況

平成25年5月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,767億円余
2. 前年同月比	-0.5% (店舗数調整後/4か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	85社 243店 (平成25年3月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,223,172㎡ (前年同月比:-1.1%)
5. 総従業員数	82,141人 (前年同月比:-3.6%)
6. 3か月移動平均値	9-11月 -0.1%、10-12月 -0.5%、11-1月 0.2%、 12-2月 -0.4%、1-3月 1.5%、2-4月 1.3%

[参考] 平成24年4月の売上高増減率は1.3% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

4か月ぶりのマイナスであるが、減少率は0.5%とほぼ前年並みに推移した。

今年4月は、強い寒気による気温低下や大雨・暴風など天候不順の影響を受けて、主力の春物衣料(衣料品:-3.1%)が苦戦したほか入店客数も伸び悩んだ。一方、円安による企業業績の改善、株高による資産効果など景気回復への期待感を背景に、上質で付加価値の高い商材を求める志向は底堅く、ラグジュアリーブランド(身のまわり品:+1.8%)や宝飾品・高級時計(美・宝・貴:+18.8%)などの高額帯は引き続き活況で、売上を下支えする要因となった。また、月末のGW前半戦には各店の積極的な催事展開などで増勢気運が戻ってきたものの、休日が前年比1日減などのマイナス与件もあり、最終的には前年実績を僅かに下回る結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、増床・改装効果のある東京や大阪など大都市(10都市:+1.0%)が4か月連続で前年をクリアしたこと、訪日外国人はアジア圏の旅行シーズン(中国・清明節/お盆、タイ・旧正月)に円安効果が重なり、単月としては統計開始(09年1月)以来過去最高の売上高(約38億6千万円/全国44店免税売上ベース)を記録したこと、などが報告されている。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 日本付近は10日程度の周期で強い寒気が南下し、一時顕著な低温となるなど気温の変動が大きかった。また、北・東日本では、発達した低気圧の影響を周期的に受けて月降水量が多くなり、特に日本海側は顕著な多雨となった。

(2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日 (〃 -1日/日曜日・1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数131店舗)

①増加した: 27店、②変化なし: 25店、③減少した: 79店

(5) 4月歳時記(春物商戦、新生活、花見、昭和の日)の売上 (同上/有効回答数101店舗)

①増加した: 13店、②変化なし: 56店、③減少した: 32店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値/有効回答数168店舗)

①増加する: 27店、②変化なし: 85店、③減少する: 12店、④不明: 44店

全国百貨店 売上高速報 2013年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	476,717,668	100.0	-0.5 (-0.7)
10都市	318,577,725	66.8	1.0
札幌	11,777,240	2.5	-0.4
仙台	6,931,780	1.5	-2.4
東京	123,971,776	26.0	2.1
横浜	28,026,119	5.9	0.1
名古屋	28,455,647	6.0	2.8
京都	18,847,583	4.0	-3.0
大阪	63,260,556	13.3	2.9
神戸	12,441,363	2.6	-4.4
広島	10,255,974	2.2	-5.3
福岡	14,609,687	3.1	-0.7
10都市以外の地区	158,139,943	33.2	-3.3 (-3.8)
北海道	2,657,113	0.6	-2.1
東北	8,191,241	1.7	-3.7
関東	74,345,323	15.6	-4.6 (-5.3)
中部	12,566,281	2.6	-1.1
近畿	16,098,206	3.4	-0.3
中国	11,050,309	2.3	-1.7 (-4.5)
四国	8,738,991	1.8	-1.9
九州	24,492,479	5.1	-3.4

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	476,717,668	100.0	-0.5 (-0.7)
紳士服・洋品	33,729,822	7.1	-3.4 (-3.6)
婦人服・洋品	112,468,900	23.6	-3.0 (-3.2)
子供服・洋品	15,309,511	3.2	-4.6 (-4.7)
その他衣料品	11,330,216	2.4	-1.2 (-1.4)
衣 料 品	172,838,449	36.3	-3.1 (-3.3)
身のまわり品	62,809,210	13.2	1.8 (1.7)
化粧品	26,406,921	5.5	0.1 (-0.2)
美術・宝飾・貴金属	26,283,065	5.5	18.8 (18.4)
その他雑貨	19,637,182	4.1	-3.5 (-3.6)
雑 貨	72,327,168	15.2	5.1 (4.8)
家 具	6,552,010	1.4	7.2 (7.1)
家 電	1,362,815	0.3	1.0 (1.0)
その他家庭用品	16,572,440	3.5	-3.3 (-3.5)
家 庭 用 品	24,487,265	5.1	-0.5 (-0.6)
生 鮮 食 品	24,958,823	5.2	-1.3 (-1.4)
菓 子	29,938,153	6.3	0.4 (0.2)
惣 菜	26,586,529	5.6	-1.3 (-1.4)
その他食料品	33,234,442	7.0	-0.6 (-0.9)
食 料 品	114,717,947	24.1	-0.6 (-0.8)
食 堂 喫 茶	14,100,804	3.0	1.8 (1.7)
サ ー ビ ス	5,950,336	1.2	-3.9 (-4.0)
そ の 他	9,486,489	2.0	-5.6 (-5.6)
商 品 券	13,475,332	2.8	-9.6 (-9.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 1.0% (店舗数調整後／4か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.3% (〃 ／2か月ぶりマイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	1.0	0.6	4か月連続プラス
札幌	-0.4	0.0	2か月ぶりマイナス
仙台	-2.4	0.0	2か月ぶりマイナス
東京	2.1	0.5	4か月連続プラス
横浜	0.1	0.0	2か月連続プラス
名古屋	2.8	0.2	6か月連続プラス
京都	-3.0	-0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	2.9	0.4	6か月連続プラス
神戸	-4.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
広島	-5.3	-0.1	3か月連続マイナス
福岡	-0.7	0.0	4か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-3.3	-1.1	2か月ぶりマイナス
北海道	-2.1	0.0	13か月連続マイナス*
東北	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-4.6	-0.8	2か月ぶりマイナス
中部	-1.1	0.0	2か月ぶりマイナス
近畿	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
中国	-1.7	0.0	4か月ぶりマイナス*
四国	-1.9	0.0	2か月ぶりマイナス
九州	-3.4	-0.2	5か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が6か月連続のプラス。衣料品と食料品が2か月ぶり、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が8か月連続、菓子が4か月連続、家具が3か月連続、化粧品が2か月連続のプラス、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.5	-	4か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-3.4	-0.2	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-3.0	-0.7	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-4.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-1.2	0.0	5か月連続マイナス
衣料品	-3.1	-1.2	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	1.8	0.2	6か月連続プラス
化粧品	0.1	0.0	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	18.8	0.9	8か月連続プラス*
その他雑貨	-3.5	-0.1	2か月ぶりマイナス*
雑貨	5.1	0.7	6か月連続プラス
家具	7.2	0.1	3か月連続プラス
家電	1.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-3.3	-0.1	5か月連続マイナス
家庭用品	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
生鮮食品	-1.3	-0.1	13か月連続マイナス*
菓子	0.4	0.0	4か月連続プラス*
惣菜	-1.3	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.6	0.0	3か月連続マイナス*
食料品	-0.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	1.8	0.1	6か月連続プラス
サービス	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他	-5.6	-0.1	4か月連続マイナス
商品券	-9.6	-0.3	26か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年5月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,239億円余
2. 前年同月比	2.1% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.8%(88.8%) : 非店頭-3.3%(11.2%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	899,109㎡ (前年同月比:-1.3%)
6. 総従業員数	19,417人 (前年同月比:1.6%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 0.9%、10-12月 0.1%、11-1月 0.7%、 12-2月 0.3%、1-3月 3.2%、2-4月 3.8%

[参考] 平成24年4月の売上高増減率は6.7% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 入店客数の状況については、天候不順や日曜日1日減の影響から、増床・改装店舗を除くと概ね3~4%減で推移した。
- (2) 高額品は、5割増ペースの高級時計を中心に絵画などにも動き(美宝貴:+33.0%)が見られたほか、呉服、高級寝具、高級食器、さらには高級ワインなども伸びている。
- (3) 価格改定が相次いだラグジュアリーブランドは、値上げ直後に一時的な売行鈍化が発生したものの、ほどなく増勢基調を回復しており、現時点で大きな影響は見られない。
- (4) 入店状況の不振を挽回すべく、都内各店で積極的な催事展開が行われ、定番の地方物産展、外国展、スプリングセールなどをはじめ、伝統工芸や生け花など日本文化に関連した文化催事も活況であった。
- (5) 5月中旬までの商況は、概ね前年同月比5%増の水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比+0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 1店、③減少した: 13店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、新生活、花見、昭和の日)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 6店、③減少した: 4店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
 - ①増加する: 6店、②変化なし: 12店、③減少する: 2店、④不明: 0店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年04月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	123,971,776	100.0	2.1
紳士服・洋品	10,591,392	8.5	2.4
婦人服・洋品	26,359,694	21.3	2.4
子供服・洋品	2,918,732	2.4	-2.6
その他衣料品	2,269,925	1.8	6.8
衣 料 品	42,139,743	34.0	2.3
身のまわり品	17,954,428	14.5	4.0
化粧品	6,799,273	5.5	1.5
美術・宝飾・貴金属	8,464,969	6.8	33.0
その他雑貨	5,956,954	4.8	-10.8
雑 貨	21,221,196	17.1	7.5
家 具	2,157,164	1.7	16.8
家 電	852,133	0.7	11.0
その他家庭用品	4,692,041	3.8	-5.3
家 庭 用 品	7,701,338	6.2	1.7
生 鮮 食 品	4,574,565	3.7	-0.1
菓 子	7,068,937	5.7	-1.5
惣 菜	6,075,451	4.9	-4.3
その他食料品	8,002,858	6.5	-0.9
食 料 品	25,721,811	20.7	-1.7
食 堂 喫 茶	3,108,111	2.5	1.5
サ ー ビ ス	2,816,438	2.3	-6.6
そ の 他	3,308,711	2.7	-2.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,827,426 千円	-21.8
従 業 員 数	19,417 人	1.6
店 舗 面 積	899,109 m ²	-1.3

営 業 日 数	30.0 日	前年	29.2 日
---------	--------	----	--------

NEWS LETTER

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が6か月連続、衣料品が3か月連続、雑貨が2か月連続、家庭用品が2か月ぶりのプラス。食料品が4か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が9か月連続、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、家具が3か月連続、その他衣料品が3か月ぶり、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.1	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	2.4	0.2	3か月連続プラス
婦人服・洋品	2.4	0.5	3か月連続プラス
子供服・洋品	－2.6	－0.1	5か月連続マイナス
その他衣料品	6.8	0.1	3か月ぶりプラス
衣料品	2.3	0.8	3か月連続プラス
身のまわり品	4.0	0.6	6か月連続プラス
化粧品	1.5	0.1	9か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	33.0	1.7	4か月連続プラス*
その他雑貨	－10.8	－0.6	12か月連続マイナス*
雑貨	7.5	1.2	2か月連続プラス
家具	16.8	0.3	3か月連続プラス
家電	11.0	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	－5.3	－0.2	12か月連続マイナス
家庭用品	1.7	0.1	2か月ぶりプラス
生鮮食品	－0.1	0.0	3か月連続マイナス*
菓子	－1.5	－0.1	4か月ぶりマイナス*
惣菜	－4.3	－0.2	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	－0.9	－0.1	4か月ぶりマイナス*
食料品	－1.7	－0.4	4か月ぶりマイナス
食堂喫茶	1.5	0.0	6か月連続プラス
サービス	－6.6	－0.2	2か月ぶりマイナス
その他	－2.7	－0.1	3か月ぶりマイナス
商品券	－21.8	－0.6	24か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>